

JSAF外洋特別規定2016-2017申告書 附則B(インシヨア) ミドルボート&GW・IRレガッタ

艇名 _____ セイル番号 _____

艇の責任者
署名 _____ 氏名 (活字体で明記) _____

署名した日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日 乗員数 _____ 名
シリーズレースで乗員数が日々異なる場合は、乗員最多日の乗員数

- ・この申告書はJSAF外洋特別規定の全てを包括している物ではない。
- ・規定本文を確認し、規定すべての条件に従った上で、申告書に記入する事

OSR 番号	参加者記入欄 チェック項目(該当規定本文にて確認する事)	はい・いいえ	インスペクタ 記入欄
1	3.23 9リットル(2.4米がロン)以上の容量で、ラニヤードが付いた、頑丈な作りのバケツ1個	はい・いいえ	
2	3.24 コンパス1個(手持ちも可)	はい・いいえ	
3	4.05 電気回路やエンジン、ストーブ(コンロ)が艇にある場合は消火器1個	はい・いいえ	
4	4.06 アンカー1個	はい・いいえ	
5	4.22 ドローグ付きのライフブイ	はい・いいえ	
6	4.22.5 コクピットですぐ使える、直径6mm(1/4インチ)以上で長さ15-25m(50-75フィート)のヒービングライン	はい・いいえ	
7	4.25 デッキ又はコクピットからすぐ使える位置に鞘に収められ安全に保管された強固で鋭いナイフ	はい・いいえ	
8	5.01.1 各乗員は以下を持つこと 個人用浮揚用具の条件は a) 笛が装備されている b) 艇名か着用者の名前が明記されている。 c) 膨張式の場合、少なくとも年に1回点検してある。	はい・いいえ	
9	有効な個人用浮揚用具の数	個	

1.02 艇責任者の責任

- 1.02.1 レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある、というRRS.4のもとで艇と乗員の安全の確保は、艇の責任者の避けられない責任であり、艇の発見、艇が十分な耐航性を油脂、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ経験豊富な乗員を配置することに最善を尽くさなければならない。
更に、艇の責任者は資格を喪失した場合、艇の責任者を引き継ぐ者を指定しなければならない。
- 2.03.1 外洋特別規定が必要とするすべての装備は以下の通りであること
- a) 適切に機能すること
 - b) 定期的に点検され、清掃され、維持されていること
 - c) 未使用時に劣化が最小になるような状態で保管されていること
 - d) 直ぐに使用できる場所にある
 - e) 艇の大きさや使う目的に対して、適切な種類、サイズ、容量であること
- 3.02 艇体の完全な水密性
艇は基本的に水密であり、そして全ての開口部は即座に水密確保される。センターボード、ダガーボードのトランクなどは、確実に喫水線より上に開口をしている保守ハッチを除き、艇体の室内側に開口してはならない